

公園のごみ・たばこ



公園にごみ・たばこが捨てられている！

■これを守りましょう

- ・お菓子の袋やジュースの缶・ペットボトルなどのごみは持って帰りましょう。
- ・周りに人がいるところでは喫煙しないようにしましょう。
- ・吸い殻はポイ捨てせずに、携帯用灰皿に入れて、持ち帰りましょう。

■こんなことを心がけよう

公園に設置していたごみ箱や灰皿は撤去しました。これは、その場所に家庭ごみや吸い殻が散乱してしまっただけが原因です。

公園に出かけるときは、ごみや吸い殻を持ち帰れるよう袋や手さげを持って出かけるように心がけましょう。

子どもの遊具の使い方



小さな子どもがケガをしないか心配。

■これを守りましょう

- ・滑り台で立ったまま滑ったり、下から昇ったりしないようにしましょう。
- ・滑り台の降り口付近では遊ばないようにしましょう。
- ・ブランコから飛び降りたり、はりにぶら下がったりしないようにしましょう。
- ・ブランコをこいでいる人の近くに寄らないようにしましょう。
- ・ランドセルや水筒、ヘルメットは外して遊びましょう。

■こんなことを心がけよう

小さな子どもが遊具で遊ぶ場合は、保護者が一緒に遊ぶか、見守ることが必要です。

そして、子どもの年齢や遊び方に応じて「目が届く位置」か「声が届く位置」または「手が届く位置」を探して、そこから見守るようにしましょう。

ペットの飼い方



犬を散歩させるだけでフンの後始末をしない飼い主がいて困る！

■これを守りましょう

- ・散歩の際の犬のフンや尿は、周辺の方々の迷惑になります。
- ・飼う犬の排せつは自宅で済ませるようにしつけしましょう。
- ・散歩の際には、フンを入れる袋や水を持って出かけましょう。
- ・飼い犬には必ず引き綱(リード)をつけましょう。

■こんなことをやってみよう

市では、自宅の周辺に犬のフンをされて困っている方に看板を配布しています。必要な方は環境清掃課へお越しください。



猫が敷地内に入ってきてきてフンをしたり、庭を荒らしたりして困っている！

■これを守りましょう

- ・飼う猫を家の外に出しているのは、近隣とのトラブルだけでなく、交通事故や病気にかかるなど、ほかのトラブルにも遭いやすい飼い方です。現在、市内の道路上で事故などによって回収される猫の数は、年間500頭を越えています。

■これを守りましょう

- ・決まった場所で排せつさせるようにしつけをし、屋内で飼いまししょう。

■こんなことをやってみよう

餌やりだけをするのはしないようにしましょう。

■こんなことをやってみよう

猫が敷地内に入ってきて困っている方は、猫の嫌いな臭いもの(木酢液や漂白剤などをうすめたもの)をまいたり、猫(の足裏)が不快に感じるような、とがったものを置いたりするのも対処法のひとつです。